



プーケット国際マラソン™は、タイ観光局（TAT）、タイ国際航空およびラグーナ・リゾート（Laguna Resorts）の提供により開催された。プーケット・マラソンは、国際マラソン・ロードレース協会（AIMS）の会員。コースはAIMSによって計測・認定済み。

## 第1回プーケット国際マラソン™、 Getting Set to Make its Mark

2006年5月10日バンコク - 2006年6月15日から18日まで、タイのリゾート地、プーケット島で第1回目のプーケット国際マラソン™・フェスティバルが開催される。メインのマラソンのほか各種レースに出場する3,000人近くのランナーなど、大会全体では1万人以上が参加するものと予想されている。

「パラダイスで走ろう！」をキャッチフレーズに参加者を募る本大会では、6月18日（日曜日）にフルマラソン、ハーフマラソン、10kmファン・ランおよび1kmキッズ・ランの各種目のレースが予定されており、タイ国内の参加者のほか、30カ国を超える国々から約500人が参加して、島の美しい景色と有名なビーチを楽しむことができる。

バンコクに本拠を置くスポーツ・マーケティング会社で本大会の主催者であるゴー・アドベンチャー・アジア（Go Adventure Asia）と、日本の制作会社で同じく主催者のエクスクラネーション（Exclamation）は、地方自治体、企業、後援者、ボランティア、そしてプーケットに住むすべての人々の相互協力によって、3年以内に本大会を東南アジアで最大規模のマラソン大会に成長させ、海外からのランナー2,000人程度、各種イベントなどへの参加者約2万人を集める計画だ。

スポーツの試合の解説者で1984年オリンピックのマラソンランナー、増田明美氏が名誉ある日本のレース大使を務める。同氏は、「プーケットは何度も訪れたことがあるところで、素晴らしいマラソン大会となるのは間違いないと思います。この催しのお手伝いができることを非常に嬉しく思うとともに、できるだけ多くの日本のランナーをタイにお連れできることを願っています。前回の訪問のときにマラソンコースを視察し、安全で、しかもとても美しいコースであることが分かりました」とのコメントを寄せている。

ゴー・アドベンチャー・アジア（Go Adventure Asia）の代表取締役を務めるライムンド・ウェレンホーフ（Raimund Wellenhofer）氏は、「観光の観点から言えば、1年のうちで活気に欠ける時期にタイ国内と海外から大勢のランナーを呼び寄せるこの大会は、プーケットの観光業界に大きく貢献するものといえます。国内外のマスコミからこの大会に対して寄せられる高い関心は、タイならびにプーケットを世界に向けて宣伝する上で大いに役立ちます。すでに世界各国の25人の報道関係者がこの大会を取材することが確認できています。これは、初めて開催されるイベントとしては驚くべき成果で、私たちは非常に誇りに思っています」と述べている。

「さらに、知っての通り今年には国王陛下のご在位60周年をお祝いする年でもあります。プーケット国際マラソン™は、「タイランド・グランド・インビテーション」の公式イベントの1つとしてこのお祝いに加わります。

ご在位60周年をお祝いして、私たちは各ランナーからの参加料のうち60パーセントを国王陛下がご後援なさっているラジャプラチャサマサイ基金（Rajaprachasamasai Foundation）に寄付することにしました」と同氏は述べている。

Laguna Phuket International Marathon™  
[www.phuketmarathon.com](http://www.phuketmarathon.com)

Go Adventure Asia (Chip Timing Co., Ltd.)

109 Fl. 5, CCT Building, Surawong Road, Bangrak, Bangkok 10500 THAILAND Tel. +66 2 2362931-2 Fax. +66 2 2372321  
Email: [info1@goadventureasia.com](mailto:info1@goadventureasia.com)